

もくじ

- 12月議会のあらまし 2
「手話は言語」条例を定める
- **特集** 議員のなり手不足解消に向けて 4
シリーズ 4
議会の役割ってなあに?
若手消防団員とのタウンミーティングを終えて
- 一般質問 町政を問う 6
- 議会改革に向けて 13
- 委員会レポート 14
公共交通利用者を増やす工夫を
スーパーシティ構想予定地などを視察
コンビニなど交付サービスを開始
岡崎市中心中央クリーンセンターなど視察
- あい・らぶ・マイタウン 16

こんにちは
幸田
ぎがかい



幸田町議会HP



手話



条例



おめでとう



言語



議決



祝 幸田町手話言語条例 制定

令和3年12月17日制定 令和4年4月1日施行



年頭のごあいさつ



議長
足立 初雄

新年明けましておめでとございませう。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の猛威は、いまだ予断を許さない状況が続いています。感染への不安や緊張の中、医療・福祉をはじめ地域の安全安心を守るための仕事に従事されている皆様に、敬意を表するとともにそのご尽力に心より感謝申し上げます。

幸田町議会といたしましては、これまで以上に町民の代表として責務と役割の大きさを自覚し、皆様に寄り添った身近に感じる存在である議会を目指してまいります。新しい年が町民の皆様にとって、幸多き一年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和4年1月

12月
議会の
あらまし
11/29-12/17

会期 19日間の開催。

議案

- ・ 人権擁護委員、幸田町固定資産評価員の人事案件2件
- ・ 幸田町公契約条例の制定、幸田町公益的法人等への職員の派遣に関する条例の一部改正 など単行議案6件
- ・ 補正予算関係2件
- ・ 最終日に追加議案上程された補正予算関係1件

以上、全て答申・同意・可決した。

陳情

2件を審議し、不採択とした。

一般質問

6人の議員が町政全般にわたる課題をたじた。

「手話は言語」 条例を定める



手話で「I LOVE YOU」

幸田町手話言語条例の制定

可決

「手話は言語」であるという認識の下、手話についての基本理念を明らかにし、手話に関する施策を総合的に推進する。

問 条例を制定している県内の自治体は。

答 県および8市が制定。町村では制定されていない。

・ 施行期日 令和4年4月1日
(全員賛成)

幸田町公契約条例の制定

可決

公契約の適正な履行、公共事業及び公共サービスの品質、並びに公契約に係る事業に従事する労働者の適正な労働条件の確保を目的とし、基本となる事項を定める。

問 入札制度を見直し、下請を町内事業者最優先とする考えは。

答 町外事業者が請負う時には下請けを町内事業者を優先することをお願いしている。

・ 施行期日 令和4年4月1日
(全員賛成)

幸田町公益的法人等への職員の派遣条例の改正

可決

職員を派遣することができる団体を見直し、愛知県農業共済組合を削除、幸田町商工会を追加する。

問 商工会へ派遣しなければならぬ理由は。

答 町の政策として商工会との連携を強くするため。

問 派遣職員の職位と任期、連携方法などは。

答 課長級職員を2年間派遣。条例制定後に派遣先と協定を締結。施行期日 公布の日 (反対2、賛成12)

一般会計補正予算 1億9048万円追加 **可決**

歳入(主なもの)

- 国費 1億8075万円
- 町費 1048万円
- 歳出(主なもの) 1億4515万円
- 障害者福祉事業

障害福祉サービスに伴う給付費等の大幅な増加。
● 児童・生徒職員健康管理事業
● 新型コロナウイルスが出た場合、PCR検査を行う。

- 小学校 480万円
 - (児童40人+教職員40人) × 2校 × 3万円
 - 中学校 40万円
 - (生徒40人+教職員40人) × 1校 × 3万円
- 問** PCR検査費用3万円は適正か。

答 予算上の目安。安価を目指す。

● GIGAスクール家庭学習用Wi-Fiルーター購入等

● 小学校(100台) 386万円
● 中学校(50台) 193万円
通信不具合のある家庭への調査は。

問 タブレット持ち帰りによる自宅通信環境調査にて把握し、ルーターを貸し出す。

答 新型コロナウイルス接種券印刷等(3回目接種) 494万円 (全員賛成)



貸し出し用ルーターのイメージ(高さ22cm)

人事案件

- 人権擁護委員
- 志賀葉月氏 (高力区)
 - 小野浩史氏 (荻区)
 - 酒向弘康氏 (里区)

答申

固定資産評価員

- 鈴木由美子氏 (岡崎市)

同意

10万円給付は現金一括で!

補正予算追加上程 11億7190万円追加 **可決**

歳入(主なもの)

- 国費 11億7514万円
- 歳出(主なもの) 3億円
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 10万円×2700世帯 (非課税世帯)
- 10万円×300世帯 (家計急変世帯)

● 子育て世帯への臨時特別給付金 8億2000万円

10万円×6900人 (中学生以下)

問 10万円×1300人(高校生等) 年内に現金10万円一括給付に対する町の対応は。

答 12月27日に10万円を現金で一括給付する。

問 給付対象となる方の生年月日は。

答 平成15年4月2日から令和4年3月31日生まれの方。

問 同じ学年である令和4年4月1日生まれも対象にできないか。

答 児童手当のしくみと同様に取り扱う。

問 所得制限でもらえない人数は。

答 約1割が該当することから800人程度と推測している。(全員賛成)

お知らせ

条例に関しては施行期日以降、町ホームページへ掲載されます。

【お詫びと訂正】

議会だより第182号4ページの「一般会計・特別会計・企業会計の決算額と採決結果」の一般会計の採決結果に誤りがありました。正しくは、「反対2：賛成12で認定」です。

特集

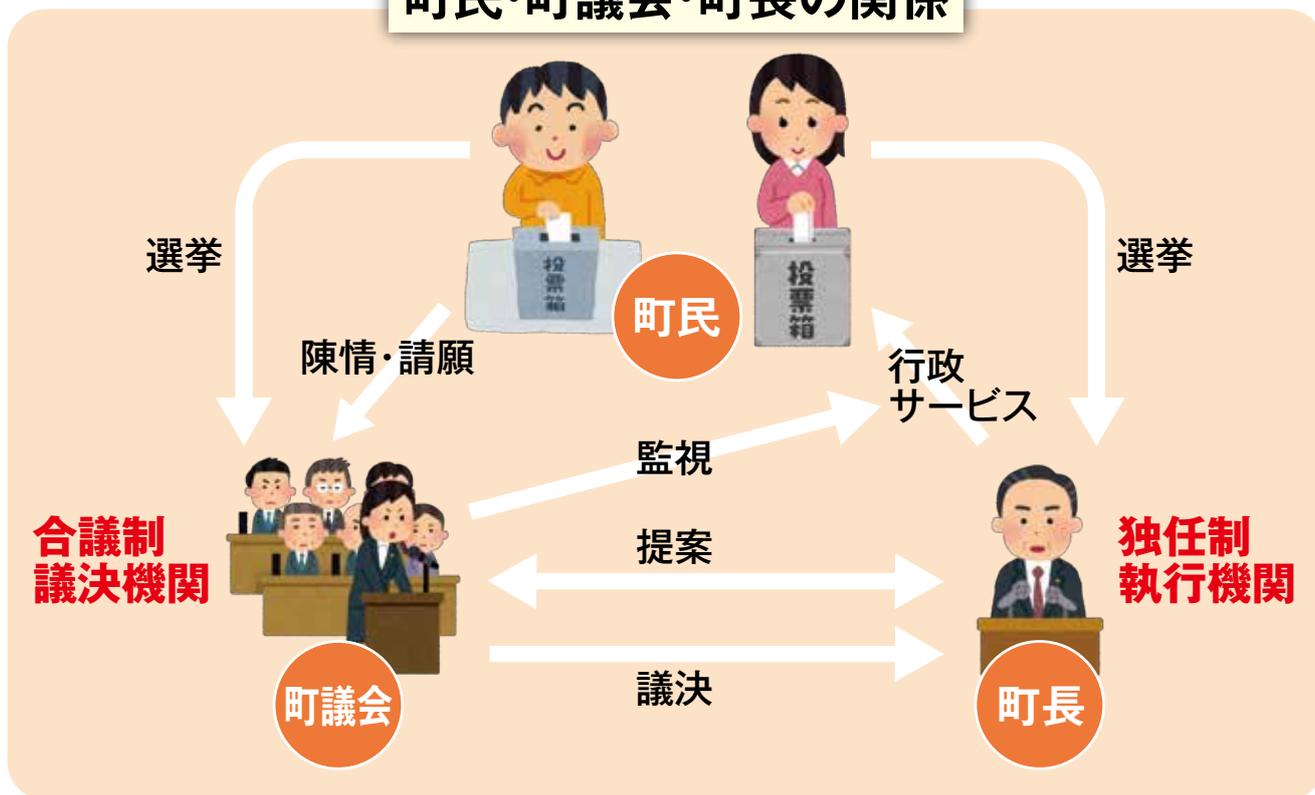
シリーズ

4

議員のなり手不足解消に向けて

其二 議会の役割ってなあに？

町民・町議会・町長の関係



議会の役割：3大機能

議会の役割は 一般的に3大機能があるといわれている

① 議決機能

町長が行う行政の前提となる条例・予算・決算等の議決権

② 監視機能

町長が行う行政の適正確保のための監視権

③ 提案機能

町民の意見を代表して 行政に反映させるための提案権

議会の必要性

町長は 民意（選挙）で選出されたことを根拠に 全ての意思決定を単独で行う = **町長独任制**

↓
民主制実質的には維持できない
(多様な民意を一人の人間で代表できない)

↓
多人数での活発な議論により
合意で意思決定

↓
議論・合意の舞台が必要

||
憲法93条（地方自治）
「議事機関として議会を設置する」合議による意思決定機関 = **議会**

若手消防団員とのタウンミーティングを終えて

「議員のなりて不足」をテーマに若手団員とのアンケート・意見交換会実施の所感を報告



競練会で頑張る消防団員

議員（議会）は何をしているか、解らない

議会活動の報告は「議会だより」などで行ってきたが、今年から議会の様子をYouTubeで録画放映、議会だよりQRコードを記載し、スマホでも閲覧可能になっている。

今後さらに、地域、各種団体などと、接する機会を積極的に設けることが必要と感じた。

若手議員が少ない

現在の議員15人の平均年齢は71歳で、全国町村の中でも、高齢上位にある。

本町は人口が増え続け、高齢化率は21%で他市町より低く比較的若い町である。

若者が議員に挑戦するには、報酬・任期後の保証などハードルが高いと考える。

町政に対する関心が薄れている

良くとれば、町民の生活は比較的豊かで、町政が順調に行われていると思われる。

順調な時こそ、町の将来像をしっかりと見据える必要があると思う。

町民の意見をもっと聞いてほしい

生活するうえで、不便を感じることで、不安に思うこと、万が一の災害の心配など、町民の意見を反映させるところが議会・議員の役目です。議員として大切な役目は、先ず皆さんの声を聞くことだと、自覚している。そのためにも、もっと皆さんとコミュニケーションの機会を増やす必要を感じている。

地域密着が強すぎる

町内には23の行政区があり、各区長がまとめ役になり、運営され、良い仕組みができあがっている。

しかし、区画整理事業などが進み、人口も増え生活の多様性の現

状から考えると、色々な立場の考えから、区に縛られることなく、手を挙げられるよう、理解が必要である。

区のことには区長に、町の将来を考えたことが議員の本来の職務である。



消防団員による階梯操法

タウンミーティングの開催計画

・消防団長・副団長・各分団長・副分団長と
1月8日に開催。

・町子ども会連絡協議会役員と1月30日に開催。

一般質問

6議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



一般質問事項

質問者	件名	頁
廣野 房男	1 財源確保に全力で企業誘致を 2 里山整備に竹林駆除の補助を	7
都築 幸夫	1 菱池遊水地利用をどうするのか 2 安全安心な自転車利用の町に	8
水野千代子	1 3歳児健診で屈折検査の導入を 2 eスポーツ活用でフレイル予防	9
丸山千代子	1 長嶺福祉医療ゾーンは見直しを 2 不育症治療費助成制度創設を 3 町職員の働き方・健康確保を	10
伊澤 伸一	1 長嶺開発構想は一時凍結すべき 2 持続可能な移手段の確立を	11
田境 毅	1 次世代自動車の普及啓発活動を 2 充電設備設置のアクションを	12

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。

今回、地域の活動が
議会で諮られる事を聞
き、傍聴する機会を得
ました。傍聴席には10
人以上いて、関心の高
さが窺えました。
質疑応答では地域の
事案だけでなく、町政
に関する事も取り上げ



なかにし まさとし
中西 雅俊さん

豊かで幸せな町づくり

られ、「この町に住ん
で良かった」町づくり
が、議会の場で真摯に
討議されている事を膚
で感じると共に、町と
地域がしっかりと繋が
り一体となり取組む事
が幸田町の発展に如何
に大切かを知りました。
コロナ禍の中で、大
変な町政活動を担って
いる事と思いますが、
町民の礎となり豊かで
幸せな町づくりをこれ
からも期待しています。

議会だよりでは、質問と答弁を要約してお伝えします。
詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、
幸田町議会ホームページでも公開しています。
また、議会の映像はYouTubeで配信しています。

議事録



議会映像





ひろの ぶさお 廣野 房男 議員

財源確保に全力で企業誘致を

企業立地促進に優遇制度も検討



問 幸田町は緑豊かで環境も良く、住みやすい町として内外から評価されている。しかし最近の歳入の減少が心配だ。歳入の増収策を問う。

答 企画部長▼財政力指数が1・0を上回ると、地方交付税の不交付団体となる。

問 交付団体と不交付団体の定義は。

答 企画部長▼財政力指数が1・0を上回ると、地方交付税の不交付団体となる。

問 不交付団体のメリット、デメリットは。

答 メリットは独自の施策が行い易い。デメリットは交付税による措置が受けられない。

問 交付・不交付を決める公式に入力する数値に変化はないか。

答 幼児教育・保育の無償化の地方負担とか、デジタル化に対する経費などが、算定

項目に加えられたように、毎年度、国で作成する地方財政計画により、変遷している。

問 不交付団体になるまで頑張ってきた時の政策と、それを維持している要因は。

答 土地区画整理事業や工場団地造成など、市街地開発事業の取り組み。

問 計画的なまちづくりで、確固たる税収を獲得できたこと。

答 法人町民税とふるさと寄附金の増収策はあるか。

問 法人町民税とふるさと寄附金の増収策はあるか。

答 税務担当参事▼企業誘致が税収全体の増になる。

問 企画部長▼返礼品を充実させるため、地場産品の発掘に努めている。

問 企画部長▼4企業が新設、4企業が増設している。

答 近隣市町より地価が安いなどの利点を活かし、財源確保に全力で企業誘致を。

問 再投資費用の一部を支援している。企業立地促進に向けた優遇制度も検討。

答 再投資費用の一部を支援している。

問 再投資費用の一部を支援している。

答 再投資費用の一部を支援している。

問 再投資費用の一部を支援している。

答 再投資費用の一部を支援している。



竹林駆除に活躍する粉砕機

問 六栗西山の林道の線形調査は進んでいるのか。

答 令和4年2月末までに完了。

問 単町事業なのに2月の未了とは遅くないか。

答 時間をかけて、調整している。

問 民地で出た草木は、届け出をしても野外での焼却は禁止か。

答 野焼きは例外的に認められているも

の以外は原則禁止。

問 竹林の駆除をするため、粉砕機の貸し出しや、購入する際の補助金の助成を。

答 利用の頻度など必要性を調査。購入は研究していく。

問 里山、森林の保全と、竹林駆除に対する町長の見解を問う。

答 町長▼近隣自治体を調査し、有害竹林の駆除、補助金の使い方を検討していく。



つづき ゆきお 議員
都築 幸夫

菱池遊水地利用をどうするのか



少額経費で効果大の施設を検討



広田川

工事が始まった菱池遊水地 (R3年10月撮影)

菱池遊水地完成後に、遊水地をどのように利用していくのかを問う。

問 遊水地工事の課題と、その取り組みを問う。

答 建設部長▼軟弱地盤対策が課題である。地盤改良機により、セメント改良を行っている。

問 遊水地事業を進める上で、県と町の役割分担は。

答 洪水時の遊水地機能の維持管理は県が行う。それ以外の部分は、町が河川区域を占有する形で、利用・管理できる。

問 平成27年の土地利用構想は、遊水地のほぼ全面に施設が配置されている。県と約束されているのか。この案だといくらかかるのか。

答 県と約束された計画ではない。全体事業費は16億円、

問 遊水地利用に、カーボンニュートラルに貢献できる、メガソーラ発電はどうか。

答 県の「矢作川カーボンニュートラルプロジェクト」への可能性も含めて、実現可能か県と相談する。

問 菱池遊水地利用をどうするのか。多くの町民が望む施設で、財政負担の少ないコンパクトな利用を進めていただきたい。

答 町長▼広大な土地を有効活用し、少額経費で、効果大の施設を検討する。

安全安心な自転車利用の町に

自転車通行帯路面表示を検討

「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を、愛知県が制定した。

この条例により、安全な自転車利用を、どう進めるかを問う。

問 最近の幸田町内の自転車事故状況は。

答 教育部長▼直近3年の年平均は17件。その内中高生が4割を占める。

問 自転車保険の加入は義務化されたが、中学自転車通学者の加入状況と促進策は。

答 中学校全体では、79・8%の加入率。保険加入の必要性を周知していく。

問 安全な自転車通学の為に、定期点検整備が必要ではないか。

答 チェックシートで、生徒同士で点検し合える形で出来ればと、考えている。

問 ヘルメット着用は努力義務となったが、着用してもらうための方策は。

答 総務部長▼本年度から購入補助を実施。啓発ポスターを駅、役場などの駐輪場に掲示している。

問 自転車利用の多い道路に「自転車ナビマーク」設置を推進して、安全安心な自転車利用の町に。

答 建設部長▼通勤者自転車利用の多い道路、歩行者と自転車が接触しそうな路線を中心に、自転車通行帯の路面表示を検討する。



みずの ちよこ 議員
水野 千代子

3歳児健診で屈折検査の導入を

補助制度創設に合わせて検討



問 弱視は早期発見・治療すれば回復が期待できる。子どもの50人に1人はいる弱視現状は。

答 健康福祉部長▼3歳児健診を受診した355人のうち、精密検査の対象となった子どもが29人、その後の精密検査の結果、弱視又は弱視の疑いと判定された子どもが6人。

問 小型機器を使い屈折検査をする県内自治体は。

答 県内で導入は、16自治体。西三河で5市、また岡崎市、安城市、西尾市の3市が今後導入予定。

問 国は新年度、検査機器を導入する自治体へ補助制度を創設する方針である。その内容は。

答 1台100万円とされる機器を購入

する場合、2分の1を補助する方針。

問 3歳児健診で屈折検査の導入を。

答 令和4年度からの国の補助制度創設の動きに合わせて、機器の購入を検討したい。

問 療育を必要とする発達障がい児が増えている。現況は。

答 療育を必要とする子どもの人数は把握してないが、療育手帖所持者数は125人、町内外の児童発達支援施設の直近利用者数72人、放課後等デイサービスの利用者194人となっている。

問 岡崎市こども発達センターに通所している子どもの人数は。

答 「めばえ」10人、「わかば」5人、「つばさ」10人である。

問 療育を断られる事はあるか。

答 定員の関係から、断られる事もあり、対応として町立保育園等で保育士の増員、また町内外の児童発達支援施設を活用し、対応している。

問 町内に療育を実施している事業所は。

答 町内に、「こども発達支援センター「桃っ子」、児童発達支援事業所「くる」の2か所である。

問 早期発見・治療を進めるためにも、

答 町内にある児童発達支援施設、放課後等デイサービスのほか町外の福祉サービス事業所も活用し、適切な支援を行っていきたい。

問 町内にある児童発達支援施設、放課後等デイサービスのほか町外の福祉サービス事業所も活用し、適切な支援を行っていきたい。

答 町内にある児童発達支援施設、放課後等デイサービスのほか町外の福祉サービス事業所も活用し、適切な支援を行っていきたい。



3歳児健診の様子

問 状態を認識するチェックリストの導入を。

答 将来的にチェックリストの作成、導入を検討したい。

問 フレイル予防・改善するため、栄養・身体活動・社会参加の取り組みを進めないか。

答 介護予防事業を通じて、高齢者の運動指導・栄養改善・社会参加に関する取り組みに引き続き努めたい。

問 モバイル端末などを使い「eスポーツ」を活用してフレイル予防策を。

答 各圏域の特色と地域資源を活用した介護予防事業の企画と運営を行うことにより、フレイル予防に資する取り組みを充実させていきたい。

問 フレイルの認識は。

答 加齢により心身ともに衰えてきた状態であること。

eスポーツ活用でフレイル予防

地域包括支援センターを活用

フレイル（虚弱）とは、「加齢によって心身が老い衰え、社会との繋がりが減少した状態」を言う。適切な取り組みを行うことでフレイルの進行を防ぎ健康に戻る事ができる。

フレイルの認識は。
加齢により心身ともに衰えてきた状態であること。

長嶺福祉医療ゾーンは見直しを



丸山 千代子 議員



現在計画のエリアで進める



移転予定の「愛厚藤川の里」(岡崎市)

長嶺北部福祉医療ゾーン開発構想は、土地利用、財政計画も正確に示されず、「こうた健幸ヒルズ」も大幅縮小し、見切り発車しようとしている。

問 「愛厚藤川の里」の移転の協定書(案)は見直しを。

答 事業調整監▼幸田町の障害者福祉施策推進のための必要な負担として、協定書の内容に応えていきたい。

問 土地の測量調査で土地利用が大幅に縮小する。構想の見直しと地元合意は。

答 健康福祉部長▼基本的な合意はできている。今後も含意形成を図りながら、構想をまとめていく。

問 道路計画、財政計画がずさんであり、長嶺福祉医療ゾーンは見直しを。

答 事業調整監▼現在の計画の、長嶺北山の隣接エリアで進める。

不育症治療費助成制度創設を

他の自治体の制度を研究する

先の見えない不安やのしかかる費用、心身への重い負担など安心して出産できるための体制強化を問う。

問 一般不妊治療費助成の実態と件数。

答 健康福祉部長▼昨年度54件で203万円。一昨年度52件で191万円。3年前が45件で146万円。

問 一般不妊治療費助成の拡大を。

答 現在の制度を継続していきたい。

問 流産や死産を2回以上繰り返し返すのが不育症であり、約80%が検査と治療で出産できる。不育症治療費

助成制度創設を。

助成制度創設を。

答 他の自治体の助成制度を研究していく。

問 不妊・不育に関する相談窓口・ケア体制を。

答 専門相談窓口の周知と、周知のためのリーフレットも設置している。

町職員の働き方・健康確保を

健康状態と向き合う機会を提供

問 コロナ禍のもと、町職員の人事異動が頻繁に行われ、業務に追われている。中途退職者も増加している。問題点は。

答 総務部長▼業務の繁忙や、例年にならぬ人事異動で、心身の負担が懸念される。

問 月80時間を超える過労死ラインといわれる。時間外勤務状況は。

答 月80時間を超える人は、令和3年度48人、令和2年度58人、令和元年度77人。

問 長期休職者数が増加している。メンタル不調による休職者数は。

答 令和3年度5人。令和2年度5人。令和元年度8人。

問 業務内容に対し職員数は足りるか。

答 部長ヒアリングで、希望人員のあてがわれない課が、少なからずある。

問 町職員の働き方や健康の確保を。

答 自分の健康状態と向き合える機会を提供できるよう努める。



伊澤 伸一 議員

長嶺開発構想は一時凍結すべき

具体的な説明をしていきたい



問 長嶺地区福祉医療ゾーン構想が、事業費等不透明なまま進められようとしている。危険性と問題点を問う。

答 地元医療機関等から公募に関する事前相談等があれば、対応していきたい。健康福祉部長▼公募の前に、医師会、近隣民間病院等に意見交換も、必要に応じて検討する。

問 岡崎市内にある障がい者支援施設、「藤川の里」が移転しなければならぬ理由は。

答 事業調整監▼敷地上の制約等の問題を抱えており、建て替えは難しいことから移転を計画。

問 老人保健施設で、市町村から用地提供、補助金交付された他市町村の例はあるか。

答 近隣において、ないものとして承知している。

問 老人保健施設は医療連携が不可欠。公募に先行して、地元医療機関等に意向を確認すべきでは。

問 藤田医科大学策定の構想は、問題だらけ。コンサルを変えるべきでは。

答 今後、地域包括ケアの連携について共に考え、提案をいただく、整備運営をお願いしたい。その中で、地元の医療法人や社会福祉法人に手を挙げていただければと考えている。

問 障がい者支援施設と老健で、4000台想定、町道新設改良は明らかに過大設計ではないか。

答 概算事業費の試算ができるまで、長嶺開発構想は凍結すべきではないか。

問 町長▼意見交換の場、事業の精査、県に再確認し、納得がいただける、かつ、具

答 町長▼意見交換の場、事業の精査、県に再確認し、納得がいただける、かつ、具



当初に示された長嶺開発構想図

答 事業調整監▼現在の交通量は2756台。1級町道により安全な線形に改良し、歩道も設置することに、円滑な交通処理、安全対策につながるもの。

体的な説明をしていきたい。意見の反映の上で結論が出ると認識。違う立地の可能性がもしできれば大至急、方向転換をしていく。方向性は、これ一本ではない。

持続可能な移動手段の確立を

様々な施策に取り組む

藤田直行タクシーなど、費用度外視で運行実験が継続されている。福祉施策なども連携し、持続可能な交通環境整備を問う。

問 タクシー料金を基準に、利用者増を目指す社会実験は無意味ではないか。

答 企画部長▼できるだけ経費を低く抑えるための比較。交通弱者の利便性を主眼に

考える。

問 複数部署にかかわる事業は、副町長がリーダーシップをとるべきでは。

答 副町長▼重要な事項は、各部長で調整をし、その調整がつかない場合に入って調整する。

問 福祉施策とリンクし、超少子高齢社会に対応した、持続可能な移動手段を確立すべきだ。

答 町長▼高齢化社会に対応できる様々な施策に取り組んで、持続可能な移動手段等進めていきたい。

次世代自動車の普及啓発活動を



田境 毅 議員



購入補助制度などを早急に周知



水素ステーション（岡崎市内）

問 令和4年度当初予算編成方針「次世代型行政サービスの実践」特にインフラ整備、具体的な取り組みを問う。

答 燃料電池車を不自由なく使用できる環境整備が課題。本町の目標値は。

問 環境経済部長▼水素ステーション最低基準を考える。

問 現状は未設置、何らかの障害があるということ。普及に向けた課題は。

答 高額な整備費や運営費が課題である。

問 公用車や公共バスの水素車導入など行政の率先垂範が重要。本町の考え方は。

答 企画部長▼第2期町環境基本計画により、次世代自動車に順次更新していく。

問 取り組みを推進するためには、多くの仲間が必要。民間企業への導入助成制度創設は。

答 環境経済部長▼国や県も考えている。

問 次世代自動車の普及啓発活動、取り組みなど実施時期は。

答 本町の次世代自動車購入補助制度を含め、早急に周知する。

充電設備設置のアクションを

関連機器の導入補助を検討中

令和4年度当初予算編成方針「新たな公共交通体系の確立」が推進される一方、公共交通では補充しきれない地域課題もある。誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会実現の取り組みを問う。



「筆柿の里・幸田」で充電中の車両

問 公用車や公共バスの電動化促進は。

答 企画部長▼ゼロカーボンの観点からも電動化を検討したい。

問 急速充電装置の設置促進は。

答 環境経済部長▼国の導入補助制度の活用を促したい。

問 充電設備の設置促進が必要、行政からアクションを。

答 関連機器導入の取り組みとして、V2H装置補助を検討中。

問 小型電動車の取り組みは。

答 企画部長▼全国の先進事例などを研究したい。

問 運転免許取得可能年齢以下の町民に対する移動の確保は。

答 チョイソコこうしたの利用対象年齢の見直しを検討したい。

議会改革に向けて



丸山千代子



黒木 一



田境 毅



伊澤 伸一



稲吉 照夫



都築 一三

●町民の皆さまのご意見を聞く機会として、タウンミーティングを開催する。

「議員のなりて不足」をテーマに、17回開催を重ね、議会・議員として、研究調査・研修会を進めていくことを決定した。

●行政からの議案の審議や、監視機能を強めていく。
●今後、FT会は政策立案を目指していきたい。



FT会開催継続を決める

FT（フリートーク）会とは議員全員で行う自由討議

●内容は「議会だより」に掲載し、報告する。

議員研修会を開催予定

令和4年1月31日、早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員 佐藤淳氏をお迎えし「対話で創る議会の新しいカタチ」との演題で、議員研修会を開催いたします。

佐藤氏は、早稲田大学のプロジェクト研究機関でマニフェスト、議会改革、自治体人材マネジメントなどの、調査・研究を行っている。

早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員 佐藤淳氏をお迎えし「対話で創る議会の新しいカタチ」との演題で、議員研修会を開催いたしますので、先生の評価が楽しみです。

らっしゃいます。



藤江 徹



足立 初雄



笹野 康男



杉浦あきら



廣野 房男



石原 昇



都築 幸夫



鈴木 久夫



水野千代子

委員会
レポート

総務教育委員会

公共交通利用者を
増やす工夫を

令和3年
11月9日
協議会開催

交通弱者の救済とい

うことで、民間では利益の出ない事業を行政が取り組む福祉政策ではあるが、費用対効果を考慮する必要もある。

問 藤田直行タクシーの本数や乗り場を増やしてなど、利便性向上の声もあるが。

答 運行をいろいろシユミレーションし、委託業者と調整している。

問 費用対効果からも理解される運営を。

答 認知度を高めながら、チョイソコと同じく実証実験を行なっていく。

逆川区の防災拠点
新集会場建設

逆川区の多くは、土砂災害警戒区域に指定されている。防災力の高い集会施設を整備する。

問 建設に地元負担金はないか。

答 町が施工して町が所有する。地元負担はない。

問 通常の維持管理はどこがするのか。

答 地元で管理していただく。

問 深溝小の教室増設案を検討

問 プールを無くしてその跡に教室を造るとあるが、水泳の時間はどうするのか。

答 民間の屋内プールで授業する事を検討している。専門のインストラクターに指導してもらえるのも良い。

問 建物が増えれば避難が心配になるが。

答 避難訓練で、災害時の行動を児童に指導してもらうよう、先生方にもお願いする。(その他17項目を協議)

管内視察

スーパーシティ構想
予定地などを視察

令和3年
10月1日



スーパーシティ構想の説明を受ける

スーパーシティ構想を進めている、深溝東光寺地区と、企画部所管の多文化共生拠点整備事業を進める、旧JA豊坂支店と、消防署所管の防災倉庫2カ所を視察した。

◇スーパーシティ構想の概要

三ヶ根駅エリアの丘陵地にて、広範囲に渡る耕作放棄地を活用し、防災・減災のスーパーシティ構想を産官学金連携により提案している。

◇多文化共生拠点整備

町民と外国籍住民が日常的に交流できるコミュニティスペースや国際交流協会(KIA)の事務所と教育相談室などが入る。



野場防災倉庫

◇防災倉庫

野場防災倉庫は、町内10カ所の防災倉庫の補充用の備蓄品を整備している。他、北部防災倉庫を視察した。

委員会
レポート

福祉産業建設委員会

コンビニなど 交付サービスを開始

令和3年
11月8日
協議会開催

マイナンバーを利用して、全国のコンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機で、住民票の写し、印鑑登録証明書など取得できるサービスを、令和4年3月1日から開始する。

マルチコピー機設置のコンビニエンスストア、ショッピングセンター、ドラッグストア、郵便局などで利用できる。

交付手数料は、住民票の写し、印鑑登録証明書など200円、戸籍証明書450円。

問 町内でマルチコピー機がある店舗は20カ所あるコンビニで利用できる。

問 安全対策で、通信内容の暗号化と証明データの削除は。

答 証明書が発行された時点で自動的に



コンビニで交付予定 (6:30～23:00)

消え、個人情報漏えい防止対策が講じられる。

坂崎保育園の大規模改修

昭和63年に改築して以来33年が経過。老朽化が著しいため、大規模な改修整備を行う。

- ◇令和4年度 屋外
- ◇令和5年度 保育室
- ◇令和6年度 調理室

問 3年度に分ける理由は。

答 1年中工事していると、子どもにストレスがかかるため。

(その他13項目を協議)

管内視察

岡崎市中央クリーンセンターなど視察

令和3年
11月26日

11月26日、岡崎市中央クリーンセンター、西尾市クリーンセンター、矢作川流域下水道浄化センターを視察。

◇岡崎市中央クリーンセンター

処理能力は年間10万6400t。処理方法はシャフト炉式ガス化溶融施設。循環型社会めざし、ごみ発電による予熱エネルギーを活用し、スラグ・メタルの再資源化。幸田町は年間8200tの可燃

ごみを搬入し、焼却している。

◇西尾市クリーンセンター

次期広域ごみ処理施設(岡崎市・西尾市・幸田町)の建設予定地は、現西尾市クリーンセンター敷地内とすることが確認されている。処理能力は年間約8万6600tのごみ焼却施設。令和12年3月竣工予定。

◇矢作川流域下水道・矢作川浄化センター

矢作川流域下水道は岡崎市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町を処理区域とし、4市1町の下水道普及率は、80.6%。幸田幹線の併用開始は、平成13年度から。平成28年度に汚泥消化タンクが運転開始。下水汚泥の減量化とバイオガスの有効利用をしている。



岡崎市中央クリーンセンターの視察

住みやすい坂崎

坂崎小学校6年
やまぐち しゅんた
山口 竣大くん



ぼくが住んでいる坂崎は、緑豊かで自然が多く、公園もたくさんあってとても住みやすいところです。でも、もっと住みやすくするためにあったらいいなと思うものが2つあります。

1つ目は、児童館です。荻谷小学校の友達と遊んだとき、初めて児童館を知りました。児童館が近くにあれば、雨の日でも友達と遊ぶことができます。

2つ目は、ドッグランができることです。

ぼくの家には犬がいるので、おもしろい走りさせてあげたいし、他の飼い主さんと友達になりたいです。

子どもにもペットにも今以上に住みやすい地域になればいいなと思います。



私の夢

北部中学校1年
いとう たえ
伊藤 多映さん



私の夢は、自衛官になることです。母が災害時の報道を通し、自衛官がどんな仕事をしているかを教えてくれました。私は「自衛官として、災害支援で活躍したい」という思いが強くなりました。これまで、現役自衛官の方にお話を伺ったり、施設を見学したりして、自衛隊に対する知識を広げ、理解を深めてきました。

また、学校の防災学習で幸田町安全テラスセンター24の方から、災害についてのお話を聞きました。その中で、将来、私を育ててくれた幸田町が有事の際には、私の自衛官としての経験を生かした貢献ができたならと強く思うことができました。



まきの つぎお
絵：牧野次男さん（芦谷）

※表紙の写真

手話言語条例議決の手話で、喜びいっぱいの方、関係者のみなさん。

議会広報特別委員会

- 委員長 稲吉 照夫
副委員長 都築 幸夫
委員 水野 千代子 藤江 徹 廣野 房男
黒木 一 鈴木 久夫 田境 毅

幸田町議会だより No.183 2022.1.26発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会
発行責任者 ● 議長 足立 初雄
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970
Eメール gikai@town.kota.lg.jp
幸田町ホームページ http://www.town.kota.lg.jp/

議会を傍聴してみませんか

【場所】 役場5階 【時間】 午前9時から

【3月定例会の予定】

- 2月24日(木) 開会、議案の説明
28日(月) 一般質問
3月 2日(水) 一般質問
4日(金) 議案の質疑
7日(月) 議案の質疑
9日(水) 予算特別委員会
10日(木) 予算特別委員会
11日(金) 福祉産業建設委員会
15日(火) 総務教育委員会
17日(木) 議会運営委員会
22日(火) 討論、採決、閉会

議案、一般質問、質疑については、幸田町議会ホームページで随時公開していきますので、ぜひご覧ください。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151 (直通)